

令和7年度 事業計画

令和7年度基本方針

- 地域が一体となり優れた人材を育て、岩手で育った人材が地域に貢献していく姿を目指し、小学校からの各段階に応じたものづくり人材の育成に取り組みます。
- 北上川流域ものづくりネットワーク（以下「ネットワーク」）20周年に向け、これからの中長期のあり方について検討します。

1 小中学校等対象事業

児童や生徒の職業観の醸成や地域企業の理解促進を行うとともに、ものづくりの楽しさを感じてもらう機会を提供し、未来のものづくり人材育成に取り組みます。

(1) 工場見学・出前授業支援【R7計画：50回（R6計画：50回）】

学校の希望に応じ、見学先の調整や工程の作成、出前授業講師との調整及び学校への講師派遣などを行うとともに、工場見学に要する経費の補助と、企業が出前授業を行う際に必要となる材料費について支援します。

(2) ものづくり体験教室 in 工場【R7計画：10回（R6計画：7回）】

小中学生を対象とした工場見学と工場でのものづくり体験教室を開催し、ものづくりの楽しさを感じてもらうと共に地域企業を知る機会を提供します。

(3) 小中学生等ものづくり理解促進行事開催支援事業【R7計画：15回（R6計画：15回）】

企業会員、団体会員及び学校会員が、小中学生を対象としてものづくりの理解促進等に係る事業を実施した場合、その経費の一部を補助します。

2 高校・短大等対象事業

工業高校生等の技術向上や資格取得促進等の活動を支援するとともに、地域企業を知る機会を支援します。

(1) 実技講習会等の実施支援【R7計画：8回（R6計画：30回）】【見直し、縮小】

工業高校生を対象とした資格取得に向けた実技講習会等を開催します。また、実技講習会に必要となる講師指定の実習材料及び講師謝金について補助します。

【見直し内容】

- ・補助額について、クラス単位の場合5万円、個人の場合1人あたり4千円の上限額は維持し、対象経費を材料費及び講師謝金として見直します。
- ・技能検定受検者の減少により、高校からの申請が減少していますが、一定の資格取得を目指す生徒があり、その支援は必要であることから、目標値を見直します。

(2) インターンシップの実施支援【R 7計画：3校 (R 6計画：1校)】【拡充】

工業高校生の就労体験による職業意識の醸成と地元企業の理解促進の機会のさらなる創出を図るため、長期インターンシップや学校の長期休暇を活用した有給インターンシップについて、企業及び学校への情報提供等を行います。

【拡充内容】

令和6年度は、水沢工業高校をモデル校とし、有給インターンシップの実施を支援しましたが、他の工業系高校についてもニーズに応じて支援します。

また、長期インターンシップの実施についても支援します。

(3) 工場見学・出前授業支援【R 7計画：50回 (R 6計画：50回)】【拡充】

工場見学については、工業高校等の希望に応じ、見学先の調整や工程の作成を行います。

出前授業については、学校への講師派遣を行うほか、オンラインによる工場見学の実施を支援します。

また、黒沢尻工業高校専攻科の「地域産業」(出前授業)の開催を支援し、地域企業を知る機会を提供します。

【拡充内容】

オンライン工場見学については、令和6年度はモデル校2校(花北青雲高校、黒沢尻工業高校)で実施し好評だったことから、他の工業系高校についてもニーズに応じて実施を支援します。

(4) 地域高度技能人材育成支援事業【R 7計画：3名 (R 6計画：1名)】

黒沢尻工業高校専攻科への進学を促進するため、通学困難地域から進学する生徒への家賃等の一部を補助するとともに、黒沢尻工業高校と連携し、各工業高校に対し専攻科及び当事業のPR活動を実施します。なお、令和7年度の支援対象者は3名(予定)です。

(5) 高校生の地域企業展示会見学支援【R 7計画：1回 (R 6計画：1回)】

工業高校生等が、地域で実施する企業展示会を見学する際のバス代を支援します。

(6) 工業系高校で開催される文化祭への企業出展支援(県南広域振興局事業と連携)

【R 7計画：3校】【新規】

県立工業系高校で開催される文化祭にものづくり企業の紹介ブースを設置し、生徒及び保護者に対し、地域ものづくり企業を知る機会を提供します。

【新たに取り組む理由】

「きたかみ・かねがさきテクノメッセ」が隔年開催であり、令和7年度は相応程度の企業展示会の開催予定がないことから、高校の文化祭等での企業展示会を開催し、生徒及び保護者と地域企業が交流できる機会を創出します。

(7) 会員企業の情報発信

高校生の保護者に対し、学校に集まる機会などにネットワークのチラシを配付し、会員企業の情報発信を行います。

3 指導者対象事業

教員の指導力向上や企業と学校の連携を促進し、未来を担うものづくり人材の育成体制を強化します。

(1) 指導者研修会（実技講習会、講演会）【R7計画：2回（R6計画：4回）】

教員等を対象に、企業講師による実技講習会や講演会の開催を支援します。

(2) 企業見学会等支援【R7計画：5回（R6計画：17回）】【見直し】

小中学校の教員を対象とした「実践的キャリア教育研修会」の開催支援、高校の教員を対象とした企業見学会（現地集合・解散型見学会）を開催します。

【見直し内容】

高校教員向け見学会として、これまで実施していた夏季休暇中の教員向けミニ企業見学会（現地集合・解散型見学会）について、教員側のニーズを踏まえ、実施方法や開催時期を見直しいたします。

4 会員企業等対象事業

会員企業の従業員の技術力向上に向け、人材育成の取組を展開します。また、会員企業の人材確保・定着につなげるための取組を促進します。

(1) ものづくりいわて塾の開催【R7計画：7回（R6計画：7回）】

若手従業員を対象に、TPM活動の現場実践を通じてカイゼンへの気付きを学ぶことを目的に、ものづくりいわて塾を開催します。また、継続的な塾活動を通じて塾生同士の交流を図ります。

(2) 生産性向上のためのからくり改善勉強会の開催【R7計画：6回（R6計画：6回）】

「シンプル」、「手作り」、「ローコスト」なからくり改善について、現場見学、グループワークや職場での実践により学ぶ勉強会を開催します。

(3) 個別課題解決セミナーの開催【R7計画：3回】【新規】

各回、テーマを設定し、取組事例の紹介や取組企業の見学等による勉強会を開催します。

【新たに取り組む理由】

企業ニーズが高いテーマについて、より多くの会員企業が参加しやすくなるよう、効率性を踏まえて、講義、事例発表や企業見学等を開催します。

(4) 情報発信

ホームページやSNSを活用し、ネットワークの活動や会員のニーズに応じた情報発信を実施します。

5 その他

北上川流域ものづくりネットワーク設立20周年に向けた取組【新規】

令和8年度に設立20周年を迎えることから、令和7年度に会員有志と意見交換等を行い、20周年に向けたネットワークのあり方について検討します。